

園長だより

No. 27

2025年11月21日

園長 澄川忠男

16日(日)に行われた短期大学の「桜山祭」、その中で行われた「保育フェスタ」へたくさんのお友達が参加してくれました。短大の学生さんも先生方も、とても喜んでくださいました。私も副園長も、様子を見に行ったら、ほかの園のお友達と一緒にチームに分かれて、いろいろな楽しい活動をしていました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

明日(22日)は、『さくひんてん』です！

待ちに待った「さくひんてん」です。第一幼稚園のみんなの作品が、遊戯室に所狭しと大集合です！



さてさて、この4枚の写真は、何でしょうか？会場の中に、必ずありますよ。どこかの一部分ですね。明日、探してみてくださいね。

周りには、子どもたちの個人作品があります。3歳以上の子どもたちは、たくさん描いたり作ったりした作品の中から、自分が「見てほしい」「飾ってほしい」という作品を選びました。

また、いろいろな場所に、各クラスが取り組んでいるときの様子を紹介するための「ドキュメンテーション」も掲示してあります。保護者の皆さんには目を通していただきますようお願いいたします。

そのほかにも、玄関に大型モニターを設置して、製作途中の様子や日頃の活動のスライドショーも流しています。エンドレスで繰り返し流していますので、時間を見つけてみてくださいとありがたいです。

【通路をふさぐことがないようにお願いします。お子様のクラス以外の子どもたちの写真もありますので、スマホ等での撮影はされませんようにお願いいたします】

皆様のご来場をお待ちしております。

★同じ方向を目指して！★【園長の独り言です】

私は、保護者の方と園の教職員と「同じ方向を目指して！」ということをよく話したり書いたりします。文字で書くと簡単に書けますが、実際にはとても難しいことだと思います。それを実現させるために一番大切なことは、『互いに分かり合う』ということなのだと考えています。そのためには何が大切なのかと考えるに、『しっかり話をする』ということに尽きるなと思います。

しかも、ただ話すのではなく、『立場の違いを意識しながら、相手に敬意をもって、共感的に話す』ということなのかなと、年寄りの私は思います。

なかなか難しいのかもしれませんが、私は『子どもの笑顔』を思い浮かべながら話をするように意識しています。子どもの幸せのために話をするんだという意識を忘れないようにするためです。

ここ最近、何人かの保護者の方と話す機会があり、改めて思ったことです。私の独り言です・・・